

平成 25 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 矢崎 雄一郎
(コード番号：2191)
問合せ先 取 締 役 山 本 龍 平
電 話 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

子会社設立のお知らせ

～最新の画像診断技術を活かし、がんの新薬を中心とした治験支援事業「イメージング CRO」へ新規参入～

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎）は、本日、最新の画像診断技術を活かし、がんの新薬を中心とした治験支援事業「イメージング CRO（Contract Research Organization）※¹」へ新規参入するため、タイタン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：真船 達、以下「タイタン」）を設立いたしました。

現在、国内で行われている新薬開発の治験は、国際共同治験が主流となりつつあります。また、有効な治療薬が少ないがんや中枢神経系疾患においては、よりの確に短時間で薬剤の有効性および安全性を評価できることが求められており、薬剤による疾患固有の変化を定量化できるバイオマーカー※²を用いて評価しようとする動きが国際的に活発化しています。中でも、CT※³、PET※⁴、MRI※⁵を中心とするイメージング・バイオマーカーは評価項目として注目を集めています。固形がんを対象としたフェーズⅡ試験※⁶の薬効評価には、RECIST ガイドライン※⁷に基づく CT を用いた腫瘍縮小効果の測定等が標準となっておりますが、画像による迅速な評価ができる反面、画像を得るためには画像機器や撮像プロトコル作成等、医学・薬学・工学等幅広い知識が求められます。

タイタンは、株式会社リジット（本社：東京都渋谷区、代表取締役：山本 修司、以下「リジット」）および株式会社 MITT（本社：北海道札幌市、代表取締役：土本 正、以下「MITT」）と提携し、最新の画像診断技術やノウハウを用いた、がんや中枢神経系等における治験支援サービスを提供いたします。タイタンは、リジットおよび MITT が保有する、国際基準に準拠した治験専用の画像診断専用ツールや画像判定委員会をオンライン会議で行うことができるシステムを活用し、今後需要が高まると予想される国際共同治験およびアジア治験についても支援してまいります。

当社は、がんを中心としたイメージング CRO 事業に新規参入することで、がん治療の発展に貢献してまいります。

なお、本件による今期業績への影響は軽微であります。

【タイタン株式会社について】

商号	タイタン株式会社 [英名] TITAN Inc. 「Tella Imaging Technology and Alliance Network」のアルファベットの 頭文字をとってTITANと命名しました
所在地	東京都千代田区麹町四丁目7番地2 サンライン第7ビル7階
代表者	代表取締役 真船 達
事業内容	医薬品、医療機器の治験支援 画像を用いた医薬品、医療機器治験支援 医療IT技術販売提供等
資本金	30百万円
設立日	平成25年5月2日
決算期	12月
出資比率	テラ株式会社 100%

【※1】CRO (Contract Research Organization)

医薬品開発において、治験業務や製造販売後調査におけるさまざまな業務を受託・代行する企業のこと。

【※2】バイオマーカー（生物学的指標）

正常なプロセスや病的プロセス、あるいは治療に対する薬理学的な反応の指標として客観的に測定・評価される項目で、新薬の臨床試験での有効性を確認するための指標として使用されます。

【※3】CT（コンピュータ断層撮影：Computed Tomography）

X線を体の周りを回転させながら照射し、そこから得られた情報をコンピュータを用いて処理し断層画像にすることで、体内の様子を調べる検査のこと。

【※4】PET（ポジトロン断層法：Positron Emission Tomography）

ポジトロン（陽電子）を放出するアイソトープで標識された薬剤を注射し、体内分布を映像化する検査のこと。

【※5】MRI（核磁気共鳴画像法：Magnetic Resonance Imaging）

磁気と電磁波、水素原子の動きを利用して体の断面を撮影する検査のこと。

【※6】フェーズⅡ試験

治験はフェーズⅠ試験からフェーズⅣ試験までの4段階あり、フェーズⅡ試験では比較的軽度な少数例の患者を対象として、有効性や安全性等の検討を行います。

【※7】RECISTガイドライン

抗がん剤の腫瘍縮小効果を判定するための国際基準で、標的となる病変の径総和を算出して、腫瘍の治療効果の客観的判定に用います。

以上